

WIAL Global Forum 2014 において 立教大学が学術分野における WIAL Global Award を受賞しました。

2014年11月7日、グルガオン(インド)にて開催された国際アクションラーニング機構(WIAL) Global Forum 2014にて、立教大学が2014年度のWIAL Global Award Client of the Year(Academic Sector)を受賞しました。この受賞は、立教大学経営学部ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)及びグローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)におけるアクションラーニング(マーコードモデル)の導入とその成果に対して授与されたものです。当日は立教大学 日向野幹也教授(経営学部 BLP 主査・立教GLP 主査・立教大学リーダーシップ研究所所長)が立教大学における取り組みを発表し、WIAL代表 マイケル J. マーコードより賞を受け取りました。立教大学経営学部 BLP は、2011年に日本アクションラーニング協会エクセレントプログラムアワード2011にも選出されています。

*1 国際アクションラーニング機構(World Institute for Action Learning/WIAL)とは

WIALは、ビジネスをはじめとするすべての分野におけるアクションラーニング(マーコードモデル)の活用とその発展を目的とする国際的非営利団体です。現在はWIAL-USA、WIAL Japan(日本アクションラーニング協会)をはじめとして20近い国・地域において支部が活動を行っています。

ウェブサイト：<http://www.wial.org/>

*2 WIAL Global Award とは

WIAL Global Award は、素晴らしい成果を上げたアクションラーニングの活用事例について、組織・個人に対して授与される賞です。2014年度のClient of the Yearには、政府部門ではアメリカ連邦航空局(FAA)、金融銀行部門ではウェルス・ファーゴなどが受賞しました。

受賞者一覧：http://www.wial.org/uploads/attachments/wial%20global%20awards%202014_r22yk.pdf

授賞式にて



発表の様子

